

取扱説明書

モノタロウ ハンドパレットトラック 軽量タイプ

注文コード：57780714

このたびは、ハンドパレットトラック 軽量タイプをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

警告 この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合、死亡や重傷などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

注意 この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合、人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解や改造、修理は、絶対に行わないでください。

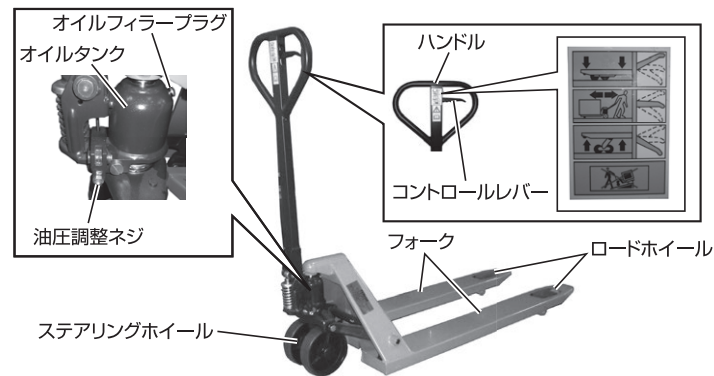
警告

- ・本来の用途以外には使用しないでください。
- ・作業の安全と機械の性能を維持するために、作業前および定期的に点検を実施してください。
- ・傾斜面、滑りやすい場所や不安定な場所で貨物の積みおろし、運搬、旋回はしないでください。転倒や操縦不能のおそれがあります。
- ・フォークを下降するときは、コントロールレバーの操作を「ゆっくり」と行ってください。いききに操作するとフォークが急下降し、荷物、床面、機械に損傷を与える原因になります。
- ・フォークの上には人は乗らないでください。またフォークだけでなく積載貨物やパレットの下に障害物を置かないでください。製品、荷物が転倒しけがをするおそれがあります。
- ・フォークの昇降時は作業周辺の安全を確認してから操作してください。また移動時は周囲に人がいないことを確認してください。
- ・小さなお子様が入れない場所に保管し、必ず大人の方が常に管理できる状況でご使用ください。

注意

- ・使用前に、各部に異常がないか必ず確認してください。
- ・次のような場所では使用しないでください。故障の原因になります。
 - 火気の近く○急激な温度変化のある場所○水がかかる場所○湿度の高い場所○ほこりの多い場所
- ・耐荷重を超えて使用しないでください。
- ・作業時は手袋と安全靴を着用してください。
- ・フォーク長さに合ったサイズのパレット、スキッドを使用してください。
- ・使用しないときは、フォークを最下降位置にしてください。
- ・保証期間内でも下記の場合は、無償提供の対象外となります。
 - ①誤った使い方、無断改造による故障。 ②災害(地震・火災など)、公害による故障。 ③乱暴な運送による故障。

2 各部の名称と機能



仕様

許容荷重(kg)	1500
フォーク最低高さ(mm)	75
フォーク最高高さ(mm)	190
フォーク幅W(mm)	550
フォーク単体幅(mm)	150
フォーク長さ(mm)	1150
ステアリングホイール(外径Φ×幅W)(mm)	180×50
ロードホイール(外径Φ×幅W)(mm)	73×55
質量(kg)	約50

※ 上記の仕様は、予告なしに変更することがあります。

【補給品について】

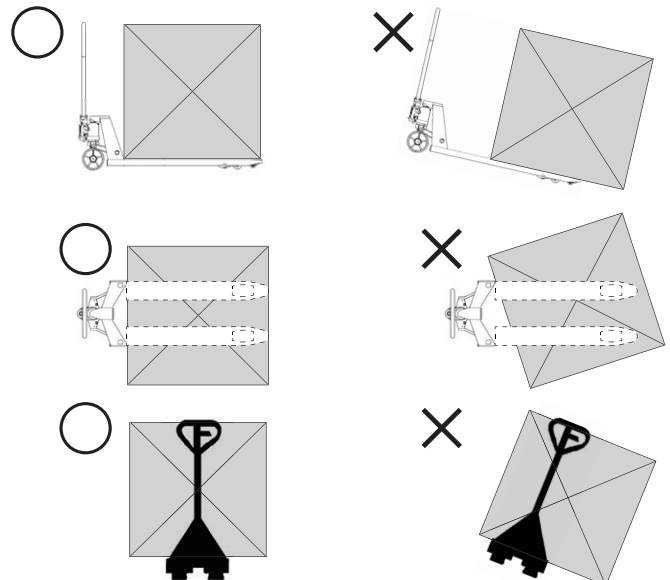
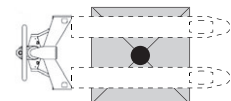
別売りで「ステアリングホイール、ロードホイール」の設定がございます。詳しくはモノタロウのホームページやカタログをご覧ください。モノタロウお問い合わせ窓口へご連絡ください。

■ 積載時の注意事項

▼ 先端荷重、偏荷重での使用は禁止

フォークの先端部分や片側に荷重を集中させないでください。
機械の転倒や損傷するだけでなく荷崩れによる事故のおそれがあります。

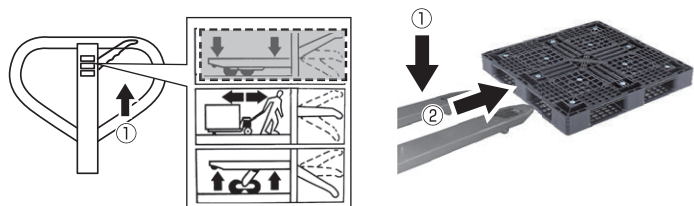
本製品の許容荷重は、フォーク全長の中心箇所の荷重です。



3 操作方法

▼ フォークの挿入

1. コントロールレバーを上側の位置まで引き上げた状態で、フォークを最低高さ位置にします。
2. パレット、スキッドなどにフォークを挿入します。

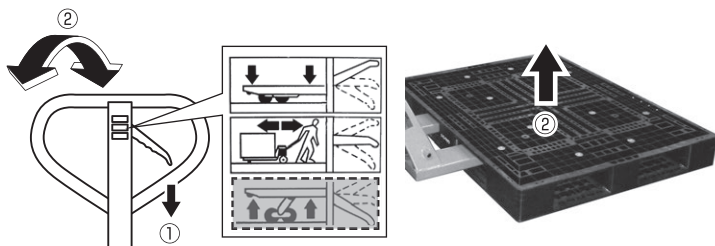


▼ フォークの上昇

1. コントロールレバーを下側の位置まで引き下げます。
2. ハンドルを上下に操作してパレット、スキッドなどが地面、床から浮くまでフォークを上昇させます。

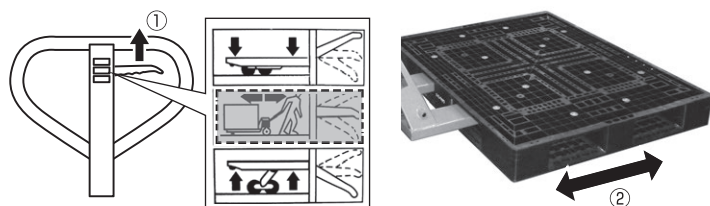
⚠ 注意

- 最大荷重を超える荷物を上昇させると、油圧リリースバルブが作動しフォークは上昇しません。



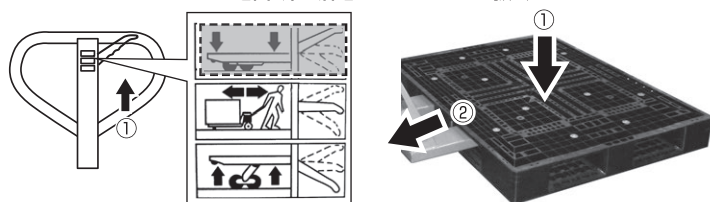
▼ 移動(運搬)

1. コントロールレバーを中間の位置にしてフォークの高さを固定します。
2. ハンドルを持ち、押し引きして移動(運搬)させます。



▼ フォークの下降

1. 移動(運搬)が終わればコントロールレバーを上側の位置まで引き上げた状態でフォークをゆっくりと下降させます。
2. パレット、スキッドなどが地面、床に着地したらフォークを抜去します。



4 ハンドルの調整

①コントロールレバーを中間の位置にした状態で、ボンピングを行った時にフォークが上昇する場合は、調整ナットを時計回りに回して、フォークが上昇しないように調整してください。

②コントロールレバーを中間の位置にした状態で、ボンピングを行った時にフォークが下降する場合は、調整ナットを反時計回りに回して、フォークが下降しないように調整してください。

③コントロールレバーを上側の位置にした状態で、フォークが下降しない場合は、調整ナットを時計回りに回して、フォークが上昇するように調整します。またコントロールレバーが中間の位置について②、③に従って、調整ナットは正しい位置にあるかどうかを再確認してください。

④コントロールレバーを下側の位置にした状態で、ボンピングを行ってもフォークが上昇しない場合、調整ナットを反時計回りに回して、ボンピングの際にフォークが上昇するように調整してください。またコントロールレバー中間の位置と上側の位置についても、上記①、②、③に従って再確認してください。



5 点検と修理

安全な作業を行うため、そして本製品の性能を維持するために、作業開始前の点検および定期点検を必ず行ってください。

点検内容…油漏れはないか、ボルトやナットの緩みはないか
車軸、回転部の異常な摩耗はないか

■ 給油

半年毎にオイルの点検を必ず行ってください。オイル量は約0.3リットルです。フォークを下げた状態で、タンク上部から55mmのところまで補充してください。気温により適切なオイルを使用してください。なお、オイル補充および交換を行う場合は、オイルフィルタープラグを取り外して行ってください。



⚠ 注意

- ブレーキオイルは絶対に使用しないでください。

温度	推奨オイル
-5℃～+40℃	ISOVG32

■ 余分エアの除去

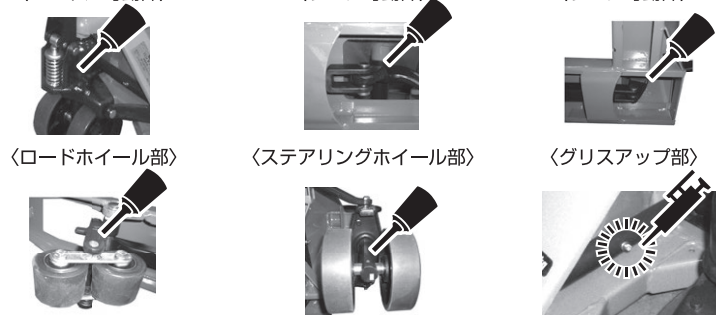
エアが油圧ラインに混入してしまうことがあります。エアが入ってしまうと、コントロールレバーを下側にした状態でハンドルを上下させても、フォークが上昇しません。コントロールレバーを上側に設定し、ハンドルを数回上下させるとエアが抜けます。

■ 日常点検と保管

本製品の消耗を最小限に抑え、長く使うために必ず毎日点検してください。特にホイール、アクセル、ハンドルとフォークの上下位置には注意してください。作業終了後はフォークを最低高さ位置まで降ろし、荷物は載せずに保管してください。

■ 潤滑

月に一度は可動部分にモーターオイル(市販品)、またはグリス(市販品)を注油してください。
〈ハンドル可動部〉 〈リンク可動部〉 〈リンク可動部〉



6 故障と対処

故障症状	故障原因	対処
フォークが最高高さまで上昇しない	●オイル不足。	●オイル補充。
フォークが上昇しない	●オイル不足。オイルに異物が混入。 ●油圧バルブの調整不良。 ●油圧ポンプにエアが混入。	●オイル補充。オイル交換。 ●油圧バルブを調整。(下記7参照) ●エア抜き。
フォークが下降しない	●過剰負荷または偏荷重(片荷重)が原因で、ロッドやシリンダーなどが変形、破損もしくはチェーンの破損。 ●フォークが長時間上昇位置に置かれたため錆が発生。 ●油圧バルブの調整不良。	●ロッドやシリンダーまたはその他変形、破損した部品の交換については、モノタロウお問い合わせ窓口へご連絡ください。 ●フォーク部の錆落とし。 ●油圧バルブを調整。(下記7参照) ●エア抜き。
オイル漏れ	●シールの破損。 ●その他の部品が破損。	●シールや破損した部品の交換については、モノタロウお問い合わせ窓口へご連絡ください。
フォークが自然に下降する	●オイルに異物が混入したためリリースバルブが閉じ不良。 ●オイルにエアが混入。 ●シールの摩損。 ●油圧調整バルブの調整不良。	●オイル交換。 ●エア抜き。 ●シールの交換については、モノタロウお問い合わせ窓口へご連絡ください。 ●油圧バルブを調整。(下記7参照) ●エア抜き。

7 フォークが上昇/下降しない場合

- ①ロックナットを緩める。
- ②〈フォークが上昇しない場合〉
調整ネジを反時計回りに回して調整する。
- ②〈フォークが下降しない場合〉
調整ネジを時計回りに回して調整する。
- ③調整後ロックナットを締め付ける。

